

## 東京高輪病院 公的機関連携プロジェクト



JCHO 理念「地域の住民、行政、関係機関と連携し地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献する」に基づき、院長の指示のもと、公共交通機関や宿泊施設、事業所などの連携を進め地域にとって必要とされる病院となるよう、プロジェクトチームを立ち上げその強化に取り組んでいる。

### ◆品川駅とのテレビ電話による連携

【契機】JR 東日本の東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みの 1 つである、熱中症対策の一環としてタブレット端末を用いた連携を試行。管轄の消防署にも周知を行った。

【内容】JR 東日本品川駅の救護所と当院医療連携・国際部にタブレットを配置。具合の悪い利用者がいるとき、受診すべきか迷うとき、救急車到着までの時間などの医療的相談を受ける。また、外国人利用者に対しては当院通訳による直接対応が可能。

【評価】2019 年夏の試行期間中、およそ 2 日に 1 件の相談件数があった。すべて日本人利用者の相談であった。来院しなかったケースの対応も含め、駅での需要があること、また消防署からも一定の評価を頂き本格運用の運びとなった。

【現在】タブレット稼働時間：平日 8:30-17:00、他時間帯は電話での対応

【今後】外国人の利用が多い、京急・JR 東海・東京モノレールへも拡大予定、準備中。外国人利用者は、体調不良の際に駅係員に相談するという概念を持っていないことから、インフォメーションセンターと連携して利用客に対する周知が必要。



### ◆ホテル・消防署との連携会議の開催

周辺ホテルとの連携強化のため、消防署を交えて連携会議を開催した。宿泊施設が困っていること、できないことなどを明確にし、医療機関として患者の受け入れに関して、更にお役に立つための情報共有を行うことができた。当院受診の際の注意事項などを記載した、独自のヒアリングシートを提案。今後、外国人が直接記入するシートとホテルスタッフがメモとして使用できるシートの両方をご提供して活用頂く。また新型コロナウイルスに関する対応についても話し合いを行った。また、消防署がホテルに出動する際をお願いしたいことなど、現場の声を直接やり取りできる貴重な機会となった。今後も定期的に当院主催で開催していく予定である。

### ◆IP 無線による品川エリアマネジメントへの参加

品川駅が提案、昼間人口の大半が事業所の従業員および宿泊客が占める品川エリアの特性を考慮し、品川駅周辺エリアの企業・宿泊施設を中心とした、「警察署・消防署との情報連携体制づくり」として開始。IP 無線を活用した連携強化、駅周辺地域の災害時など異常時の混乱防止と二次災害を発生させない仕組みが整備された。

参加施設が有効な情報を無線で共有し、それに対してレスポンスが可能。リアルタイムの現場の情報を瞬時に共有することで、早期の対応や判断が可能となり、エリア全体での安全の強化につながると期待される。

